

はじめよう かさまつチャレンジ勉強



さあ、学びのまどを開けよう！



笠松小学校では、子どもの将来の夢の実現につながる学力の向上を願い、平成27年度より家庭学習の取組を「かさまつチャレンジ勉強」（かチャ勉）と名付け、全学級でスタートします。

笠松町立笠松小学校



夢の実現に向けて … 学力向上のカギ

学校では、「学級の規律づくり」「学級集団づくり」「分かりやすい授業づくり」の3つのポイントで学力向上を目指しています。

家庭にも、学びを育てる3つのポイントがあります。

それは、「**生活リズムづくり**」「**学習環境づくり**」「**学習習慣づくり**」です。

「生活リズムづくり」

「早寝早起き朝ごはん」をしている子は、学習したことがよく身に付いている割合が高いといいます。確かに寝不足や空腹では、勉強の能率がダウンしますね。

家庭では、規則正しい生活に心がけたいものです。

例えば、

- ・気持ちよく眠りにつく生活をする。
- ・※外遊びや適度な運動をする。
- ・※寝る1時間前には、テレビやゲームをやめる。 等



「学習環境づくり」

親に言われて始めるのではなく、自分で始められるようにしたいものです。時間がきたら、「やる気スイッチ」を入れることができる学習環境にしたいものです

例えば、

- ・机の上が片付いていてる。（ゲーム機やおもちゃ、趣味の物がない。）
- ・子どもがやる気になるよう家族も協力する。
- ・※家庭学習に丸付けをしてもらえる。はげましの言葉がもらえる。
- ・※テレビ等の音に配慮している。 等

「学習習慣づくり」

私たちは、「学んだことをずっと忘れなから…」と思うことがあります。しかし、忘れるからこそ、新しい知識を記憶したり、嫌な記憶を消去したりすることができるのです。下図は、エビングハウスの忘却曲線です。これは、心理学者のヘルマン・エビングハウスによって導かれた、人間の脳の「忘れるしくみ」を曲線で表したものですが、これによると、次のような結果が得られたそうです。

20分後には42%を忘却し、58%を保持していた。

1時間後には56%を忘却し、44%を保持していた。

1日後には74%を忘却し、26%を保持していた。

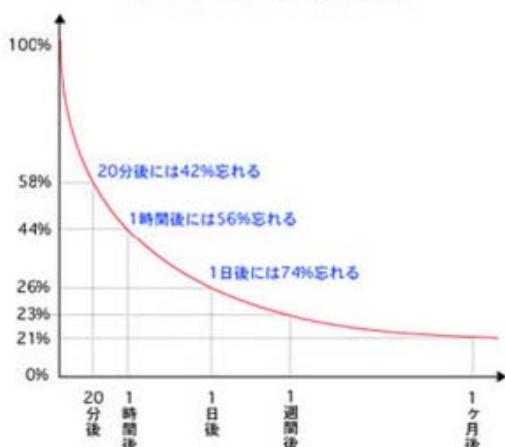
1週間後には77%を忘却し、23%を保持していた。

1ヶ月後には79%を忘却し、21%を保持していた。

つまり、時間が経つにつれて忘れる量は多くなり、特に、1日後までにほとんど忘れてしまうことが分かります。だからこそ、学習したことをその日のうちにもう一度復習し、忘却を防ぐことが大切なのです。

また、大学や企業においては、指示待ち人間が増えていると聞きます。言われたことだけでなく、必要なことを自分で見つけて行う習慣を早くから身に付けていく人材が求められています。家庭では、毎日、宿題にプラスして、自分の興味がある内容や苦手だから克服したい内容の学習をしたいものです。

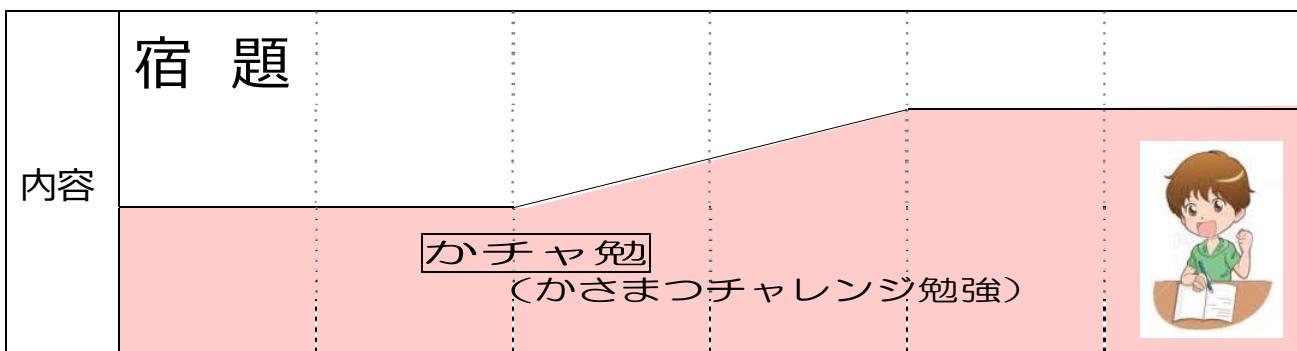
エビングハウスの忘却曲線



家庭学習の目安・内容

(1)家庭学習の目安 (時間)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
目安	15分間	20分間	30分間	40分間	50分間	60分間



※10分間×学年が目安の時間です。

※10分間ずつ・15分間ずつ・20分間ずつというように分けて学習してもO.Kです。

(2)家庭学習の内容

「かチャ勉」は、自分で学習する内容を決めて勉強することを基本にします。

下の図に示した内容を中心に、自分で考えて取り組みます。必要に応じて、学校でプリント等も準備しておきます。

何より、「もっとできるようになりたい」「もっと知りたい」など、自分の願いをもって取り組むことで、力を伸ばすことができることを子どもたちに気付かせていきたいと考えます。

繰り返す(習熟)

- ドリル(漢字・計算)
- 漢字練習、計算練習
- 音読
- リコーダー練習
- なわとび



調べる・まとめる

- 教科書の「課題」「まとめ」
- 教科書のポイント
- テスト直し
- 新聞作り



家庭学習の充実

- 日記、作文、感想文
- 詩、俳句、短歌づくり
- 絵、ポスター制作
- 料理、裁縫
- ふし作り、作曲



生み出す(創造)

- 名文の視写(なぞりがき)
- 詩・俳句・百人一首の視写
- ローマ字
- 都道府県(県庁所在地)
- 歴史上の人物



覚える(暗唱)

※大切なポイントは、どの□の内容もバランスよく行うことです。

子どもをやる気にさせる 保護者のかかわり

① 知的好奇心をくすぐる

これ、何て書いてあるか読める？



テレビに映ったのは
何県かな？

どんな話か、教えてくれる？



本読みを聞かせてほしいな？

③ やる気を伸ばす

こんながんばる姿を
見るとうれしいよ。



これ、○○さんが
考えたの？すごいね。

前より多くできているよ。



正しく読めるよう
なったね。

苦手なことにチャレンジ
することも大切だね。

見やすいノートになったね。

- 自ら学ぼうとする子
- 楽しんで勉強する子
- 家庭学習を続けられる子 … を願って

声をかけていきましょう。